

開催報告

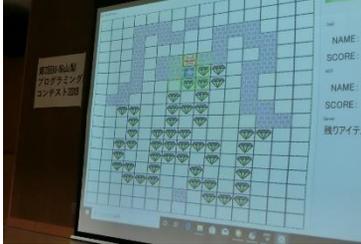
○令和元年12月7日(土)
○山梨県立甲府工業高等学校



令和元年12月8日(土)、山梨県立甲府工業高等学校を会場に『第2回U-16山梨プログラミングコンテスト』が開催されました。U-16プログラミングコンテストは、旭川からスタートした、パソコンやプログラミングに興味がある16歳以下の児童生徒(高校生、中学生、小学生)を対象に、ITの関心を深めてもらい将来のITエンジニア育成に繋げることを目的とした、日本各地で開催されているコンテストです。参加者が作成したプログラム同士を戦わせる「協議部門」、デジタル作品を審査員が評価する「作品部門」で構成されています。お蔭様をもちまして、競技部門3名、作品部門6名の参加とご父兄の参加をみて、熱戦を繰り広げました両部門を無事に終了することが出来ました。一部ではありますが、当日の様子をご覧ください。

競技部門

競技部門では対戦型ゲームプラットフォーム「CHaser」の上で参加者が作成したプログラム同士を戦わせ、点数を競います。観客の目の前でプログラムが試合を行う、スポーツの試合のような部門です。今年は、前回の優勝者に挑戦するという形式で対戦を行いました。工夫を凝らしたプログラム同士、1回の対戦では決着がつかずに何度もマップを変えて再戦を行うなど手に汗握る接戦が繰り広げられました。



結果発表 優勝：中学3年生の吉川桜さん 準優勝：小学5年生の兵藤蒼空さん 三位賞：中学3年生の平川右京さん

※競技部門で優勝した吉川さんは、2020年1月に東京で開催される「BCN AWARD 2020 / BCN ITジュニア賞 2020」のBCN ITジュニア U16賞にノミネートされました。

作品部門

作品部門は、コンピュータグラフィックス(静止画、動画、アニメーション)やWebページや自作のプログラムなど、自由に作成したデジタル作品を審査員が評価する部門です。参加者の皆様には短時間で作品をご紹介いただき、それについて審査員による質疑応答が行われました。自作のシューティングゲームやWebサイト、便利なアプリなど、参加者全員が工夫を凝らし、こだわりを持った作品を提出してくださいました。



結果発表 金賞：競技部門で優勝した吉川さんが作品賞でも金賞を受賞

銀賞：中学1年生の酒井心さん

銅賞：中学3年生の平川右京さん

審査員特別賞：小学5年生の兵藤蒼空さん

主催：U-16山梨プログラムコンテスト実行委員会

委員長 中道 泰隆 (NPO法人山梨ICT&コンタクト支援センター)

共催：山梨県高等学校教育研究会工業教育部会

後援：経済産業省関東経済産業局/山梨県/山梨県教育委員会/甲府市

甲府市教育委員会/甲斐市教育委員会/笛吹市教育委員会/甲府商工会議所

NPO法人ITジュニア育成交流協会/山梨大学/山梨県立大学/山梨英和大学

山梨学院大学/サンテクノカレッジ/山梨放送/山梨日日新聞/テレビ山梨/エフエム富士

協力・協賛：(株)大塚商会/ (株)オービックビジネスコンサルタント/ (株)シー・シー・ダブル

トレンドマイクロ(株) / (株)バッファロー/ ビー・シー・イー(株) / (株)フォーラムエイト



◆BCN ITジュニア賞 2020 表彰式

2020年1月24日（金）に品川インターシティホールに於いて『BCN AWARD 2020 / BCN ITジュニア賞 2020』の表彰式が開催され、山梨大会で優勝（競技部門）した吉川さんが「BCN ITジュニアU16部門」で表彰されました。



吉川さんとプレゼンターを務める金成社長（シーシーダブル）

「BCN ITジュニア賞」では、特定非営利活動法人ITジュニア育成交流協会からの推薦を受け、ITに取り組む若者を対象としたコンテストで優秀な成績をおさめるなど、すぐれた技術を持つITジュニアを表彰しています。

昨年より「BCN ITジュニアU-16賞」が新設され、吉川さんはこちらの部門で表彰されました。

■BCN ITジュニアU-16賞とは
16歳以下を対象にした都道府県大会レベルのプログラミングコンテスト優勝者を表彰します。（BCN AWARDより）

「BCN ITジュニア賞」は（株）シーシーダブルが協賛しています。



BCN IT ジュニア賞 2020 受賞者